

に進学させる。

(4) 高校においては、一人ひとりの夢実現に向けて、確かな進路保障の指導をしていただき、それぞれの夢実現に向けて大きく羽ばたかせる。

2 家庭教育に関して

(1) 「教育の原点は家庭教育にある」ことを認識させ、幼小中高一貫教育実現のため、各期における発達課題の理解とその定着

(2) 「学年×20分間」(小1～3年生は60分間)の宅習(復習・予習・読書)の習慣化

(3) PTA・家庭教育学級・教育県民週間等への、保護者や地域住民の参加促進

(4) 毎月23日の「子ども読書の日」の趣旨を踏まえた親子読書や、読み聞かせ・自由読書の促進

(5) 每月18日を中心、各家庭や地域社会の日常会話における「方言使用」の推進

3 社会教育に関して

(1) 島はである誠の具現化として、小中高一般による「場に応じたあいさつ」の励行

(2) 各自治公民館の「農地・水環境保全対策事業」と連動させ、町民一齊清掃の徹底と、子ども会・女性

団体・老人クラブを中心
に花いっぱい運動の更なる充実

(3) 一昨年発足した「ヨロン島スポーツクラブ」の一層の充実による、市民の健康増進と気力・体力・競技力向上の推進

4 学校教育・家庭教育

社会教育をとおして

中学校卒業までに与論町で学ぶ全児童生徒に、三味線3曲が弾け指笛が吹けるようになります。

保健・福祉・医療

町民の心身の健康を守り、病を癒す医療や保健・福祉サービスの充実を図るために主に次のこと取り組んでまいります。

1 健康よろん21 繼続推進

(1) 町民の健康づくりに関する長期ビジョン「健康よろん21」に基づき、健康寿命の延伸や早世(早死)

の減少、生活の質の向上に繋げる施策・事業の実施

(2) あまみ長寿・子宝プロジェクトの継続実施

・百寿のまちづくり50人委員会事業

・DuKuSa祭りの開催

・長寿食レシピ集や薬草料理メニューオンライン講習会及

び料理コンテストの開催等

2 母子保健の推進

(1) 町出産支援条例(平成17年度施行)に基づく、出

産費用の継続助成

(2) 島外における妊婦健診・出産費用に対する県単独補助事業と連動した公費支援制度の継続

4 児童福祉の拡充

(1) 就学前のこどもに幼児教

育及び保育を一體的に行

う「認定こども園」の充実

(2) 町次世代育成支援行動計画(平成17～26年度)の後期計画に基づく、子育て環境の整備

(3) 新法に基づく「子ども手当」の支給

・中学校修了までの児童を対象に、一人につき月額1万3000円を6月・10月・2月に支給

(4) 母親学級・両親学級の実施、乳幼児健診及び健診

後の各種相談や教室の開催

(5) 「8020運動」の推進による乳幼児から高齢者までの歯科保健対策事業の継続実施

(1) 新型インフルエンザ等の感染症予防のための啓発・周知活動及びその予防接種率の向上対策

(2) 平成19年度に策定した「特定健康診査等実施計画」に基づき、40歳以上の加入者を対象にした特定健

祉計画に掲げるノーマライゼーション(障害の有無に関わらず、全ての人が平等に助け合う地域社会を目指す考え方、理念)の具現化

に向けた施策の継続実施

3 感染症対策の充実

(1) 町民の健康づくりに関する長期ビジョン「健康よろん21」に基づき、健康寿命の延伸や早世(早死)

の減少、生活の質の向上に繋げる施策・事業の実施

・新型インフルエンザに係るワクチン予防接種費用の公費助成の継続実施

・季節性インフルエンザに係る予防接種ワクチンの高齢者に対する町費助成の継続実施

(4) 介護保険事業の健全運営

(5) 地域包括支援センター及び介護予防拠点センターにおける高齢者等支援活

動の強化(総合相談や介護予防事業、権利擁護事業等への取り組みなど)

7 国民健康保険事業及び後期高齢者(長寿)医療制度

(1) 医療費及び保険給付費の適正化を図るため、タラソテラピー等の地域資源を活用した健康づくり及

び心の健康づくり等に力点を置いた医療費適正化事業や保健事業の継続実施

(2) 平成19年度に策定した「特定健康診査等実施計画」に基づき、40歳以上の加入者を対象にした特定健

祉計画に掲げるノーマライゼーション(障害の有無に関わらず、全ての人が平等に助け合う地域社会を目指す考え方、理念)の具現化

に向けた施策の継続実施

(3) 現行の後期高齢者(長寿)医療制度の廃止を見据えた新制度に係る情報収集と対策

(4) 敬老者に関する施策事業の継続実施

(5) 独居老人等に対する支援の充実

8 火葬場の充実

管理運営に係る委託業務をメインにしつつ、職員による支援体制を充実

05 広報よろん VOL.277